

解答

- 問一 ① a (キ) b (カ) c (ケ) d (ウ) e (エ)
 ② 誠史…(ア) 雅彰…(オ) 嗣郎…(エ) 勇…(カ) 邦俊…(イ)
 問二 A (ウ) B (オ) C (エ) D (イ) E (ア)
 問三 (イ)
 問四 ② (ウ) ⑥ (イ)
 問五 1 (イ) 2 (カ) 3 (キ) 4 (シ) 5 (セ) 6 (チ)
 問六 (ウ)
 問七 (イ)
 問八 a 他人の顔色をうかがって行動する
 b へできる子と対等につきあえる
 問九 (エ)
 問十 a (ク) b (キ) c (サ) d (ア) e (コ) f (エ) g (イ)
 問一 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 問二 a (ウ) b (カ) c (キ) d (ク) e (保(ったり)) f (清潔)
 問三 (イ)
 問四 (エ)
 問五 ㉑
 問六 A (ア) B (ウ) C (オ) D (ウ) E (ア) F (カ) G (イ)
 問七 C (オ)
 問八 (ウ)
 問九 (イ)
 問十 (ウ)
 問十一 (ウ・オ)

解説

- 問八 嗣郎がへできる子たちと船づくりの仲間に入ることになってからの様子が描かれている場面で、「(嗣郎は) 他人の顔色をうかがって行動することになれてきたから・・いつのまにか埋め立て地の小屋にくることを黙認させることに成功」し、「へできる子と対等につきあえるようになっていった」とあります。
- 問十一 最後の段落で「もっともっと便利にと『多くの自動化』を求めても、やがてそのありがたみが薄れたり、味気なさを感じることもあります」「できるだけ多くの工程を自分の手で行うこともまた、創造的で楽しい仕事です」という筆者の主張が述べられています。